



二川宿まち並み通信

第24号 令和元年6月1日
発行：‘二川宿’まちづくり会
大岩町東まちづくり会
大岩中まちづくり会
協力：豊橋市都市計画課

一人ひとりの思いがまち並みを再生！

～ 新たな時代に引き継ごう ～

平成19年に旧宿場町の東半分の二川町で二川宿まちづくり会が発足しました。それから12年がたち、令和の時代を迎えました。この間、西の大岩町にも活動の輪が広がり、ふたつのまちづくり会が設立され、近年では、大岩町での景観整備も盛んになっています。

戦後、大きく失われてきた二川宿の歴史的なまち並み。このまちの歴史と文化を大切に、今の暮らしにあ

わせながら、皆でまち並みを再生していこう。そんな思いで始まった活動は、一人ひとりの思いが積み重なって、まち並みに宿場町らしい趣や心地よさを生み出してきました。

この活動を新しい時代にも引き継ぎ、より広げていきたいと思ひます。

【まちづくり会3会長：山本剛生・小杉泰文・横田健】

◆ 歴史ある家を大切に、二川宿の財産として見せる < 大正時代の歴史的建物の改修 : H31.3 完成 >



▲ 整備後：劣化した外壁を改修し、街道に沿って木製の格子塀を設置。塀と庭木の向こうに切妻平入の趣のある家が見えるようになった。玄関の繊細な格子戸や縁側のガラス戸が美しく懐かしい。



▲ 整備した木製の格子塀



▲ 整備前

★ お施主の後藤さんの思い

二川宿の古い建物がだんだん少なくなっているの、歴史ある景観のためにも残したいと思っていました。だいぶ傷んできたので解体も考えましたが、助成制度があり改修に踏み切ることができました。

改修したことで、街道のまち並みががらりと変わり、味わい深く素敵になりました。建物を見ながら街道を歩く楽しみが増えました。

◆ 既存のお店を歴史的なまち並みに調和をさせる



▲ 整備後：軒の深い庇と木製格子を設けるとともに、全体を落ち着いた色合いに仕上げ、宿場町らしさを生み出した。一枚板の看板が印象深い。

飲料メーカーの協力で自動販売機も木目調に取り替えた。



▲ 整備前のお店

< 店舗の改修 : H31.3 完成 >



▲ 河合さんご家族

★ お施主の河合さんの思い

昨年の台風で店の庇が傷み、看板の劣化も心配でした。市の助成制度も知っていたので、二川宿の景観に合った雰囲気となるよう改修を進めました。

まち並みにとけ込んだ外観になり、周囲の評判も上々です。店先の飾りつけを考えるのが楽しみです！

◆ 瀬古道の趣を高める

< 塀と乗り入れの整備 : H31.3 完成 >



▲ 整備後：和風の板塀と格子を設け、乗り入れを自然石で仕上げ、趣ある空間を創出した。



▲ 整備前



▲ 整備後

◆ 「まち並みの景観調和度」が年々向上！

＜豊橋市からの報告＞

豊橋市では、二川宿の東端から二川駅までの旧街道沿いのまち並みの変化を毎年調査しています。景観形成地区内では、「景観調和度」が年々上昇しており、まち並み景観整備が進んでいることがわかります。

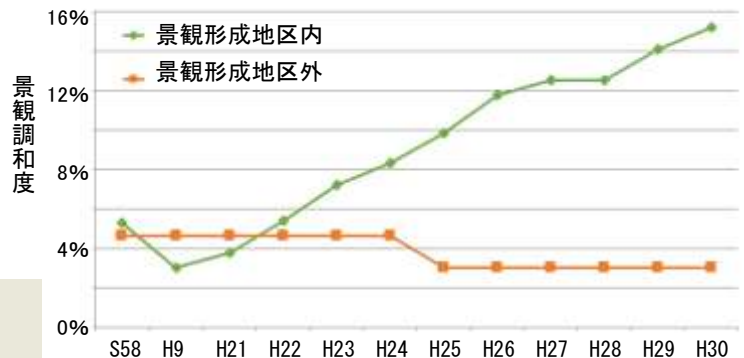
豊橋市からの お知らせ

景観整備には助成金が利用できます！

* 二川町でも引き続き利用できます！

豊橋市では、二川宿景観形成地区の景観整備を支援するため、助成制度を用意しています。これまで、二川町の助成期限は平成31年3月末まででしたが、引き続き利用できるようにしました。

* 詳しくは、豊橋市都市計画課まで
☎ 0532-51-2616



トピック1



「こまやふえす」大賑わい！

4月21日(日)に商家「駒屋」にて「こまやふえす2019」(主催：NPO法人二川宿)が開催されました。

気持ちの良い天気恵まれ、音楽・お店・体験・展示のイベントを、若者たちをはじめ、多くの人たちが楽しみ、二川宿のまち並みも賑わいました。

トピック2

五月にふさわしい、ちまきや柏餅の吊るし飾り(二川つるし飾りの会の手づくり)が、まち並みを彩りました。



お知らせ

第8回「灯籠で飾ろう二川宿」開催！



二川宿のまち並みを灯籠の灯りが幻想的に照らし出す！
多くの夜店やパフォーマンスあり！



- 開催日：7月27日(土) 点灯/午後7時～9時
雨天の場合は翌日に開催
- 開催場所：旧東海道二川宿の旧街道沿い
JR二川駅から東へ1.5KMまでの区間
- 主催：「灯籠で飾ろう二川宿」開催実行委員会
- 問合せ先：二川宿本陣資料館 0532-41-8580